

池上ゼミ同窓会を 京大で開催



2024年4月13日(土)12時から、時計台下「ラ・トゥール」にて、池上ゼミの同窓会を開催しました。

当日はゼミ生44名が全国から参集し、池上惇先生と奥さまを囲んで旧交を温めました。

池上先生は昨年卒寿を迎えられましたが、まだまだ現役でご活躍中です。昨年桜美林大学で公開講座を担当されており、その講義を聴講した東京在住のゼミ生有志が発起人となり、今回の会の開催となりました。



池上ゼミの同窓会はおそらく20年以上ぶりの開催です。先生ご夫妻は誰よりも早く会場に到着され、入口でゼミ生一人ひとりを温かく迎えてくださいました。

幹事である石角英俊氏(1988年卒業)による司会のもと、上田勉氏(1971年卒業)の乾杯により懇親会が開始されました。しばらく食事を楽しんだ後、参加者が一人ずつ挨拶を行いました。皆さん、学生時代の先生とのエピソードを交えてお話しされ、会場は終始和やかな雰囲気になりました。

最後に池上先生がスピーチされ、「いつまでも勉強するように」と私たち

を叱咤激励され、一同、身が引き締まる思いとなりました。

藤井彰二氏(1974年卒業)と亀井孝氏(1981年卒業)からお花と記念品(輪島塗の夫婦箸)を贈呈して会は終了し、その後、キャンパス内の桜の前で記念撮影を行いました。

池上先生は今年も桜美林大学の講義で上京されますので、今回参加できなかった方も、ぜひ、先生と再会していただければと思います。

幹事:石角英俊(1988年卒)
文責:熊走珠美(1988年卒)

一一会報告 (昭和50年代中期卒業生)



皆さん、こんにちは。

昨年に続いて、一一会の投稿です。

一一会は、故小野一一郎先生ゼミのOB会で、私は昭和54年卒業で18期生の長谷川清司です。

昨年とは先輩17期生と合同で年に1度開催していたのですが、今回は昭和55年卒業の19期生も参加されました。

出席者は昭和53年卒5名(写真前

列)、昭和54年卒7名、昭和55年卒3名です。

次回は、昭和55年卒の方々が増える事を期待します。

開催場所を京都駅近から「祇園キエフ」に移し、東山を眺めながら食事を楽しみました。

一一会はこの秋の定例会のみならず、京都観光を極められた18期・某氏のガイドで春・秋に「大人の遠足」と

称する京都名所巡りも行っています。

昨秋「桂離宮」今春「修学院」と学生時代には中々行けなかった場所での開催に、毎回、東京・名古屋等遠来の参加者も増え、楽しい集まりとなっています。

こうした縁を作って下さった恩師小野先生に感謝です。

秀和会 野村ゼミ同窓会

令和5年12月16日
京都大原「野むら山荘」にて



令和5年12月16日京都大原「野むら山荘」にてゼミ同窓会（「秀和会」といいます）を開催しました。秀和会は昭和45年卒から平成8年卒のゼミ生により構成されており、昭和51年の第1回開催以来、京都や東京での開催を続けて来ています。写真中央の椅子席左が野村先生、右が秀和会会長丸木俊一氏（昭和46卒）です。会長の他、「秀和会」発起人である福井順一氏（昭和52卒）が幹事長を務め、印刷物としての名簿も過去2回作成しています。新型コロナの影響のため、今回は

令和1年以来の久々の開催だったこともあり、まずは、各卒業年次の参加者と野村先生との記念写真撮影を行った後、野村先生からのご挨拶、全員での集合写真撮影、丸木会長、福井幹事長からの挨拶と進行了しました。そして、木内勝氏（昭和49卒）の音頭により食事を開始し、軍鶏料理を楽しみ、大変盛り上がりしました。「野むら山荘」は立派な庭園のあるところですが、会場はその大広間で、集合写真は大広間の外側のテラスで撮ることができ、大原らしい景色を背景に、参加者にとって

思い出に残るゼミ同窓会となりました。当日は、この写真のとおり楽しい雰囲気でした。

また、野村先生からは、マイクなしでも全員が聞き取れるお声で、ご挨拶を頂き、みんなが元気を頂戴したところです。

最後に、野村ゼミは管理会計ゼミです。写真には数名の公認会計士や税理士がいます。ご紹介まで。

（幹事 酒井純（昭和52卒）、齋藤雅通（昭和52卒）、向井俊文（平成6卒）

山田浩之ゼミ同窓会

写真上：13～29期と院生
写真下：1～12期



2024年5月25日（土）、山田浩之ゼミ同窓会が、ゼミ生93名の参加のもと、山田先生ご夫妻をお迎えして京都ブライトンホテルで開催されました。会の前半では、物故者への黙祷の後、春の叙勲で受賞の栄に浴されたゼミ生2名の披露がありました。そして、山田先生から「研究生生活を振り返って」というテーマでお話いただき、奥様から先生の家庭での近況をお聞きし、お二人の微笑ましい日常を垣間見ることができました。奥様からは、出席した同

窓生全員に、メッセージと木下李太郎の詩を記された葉書とお菓子も頂戴しました。

後半は懇親会で、ゼミ1期生の藤井睦久氏の挨拶と乾杯の音頭で始まり、コロナ禍で飲酒を取り止めた前回とは異なり、アルコールも入って賑やかな懇談の輪が広がり、大いに盛り上がった次第です。さらに、山田ゼミ最後の29期生から19期生までの出席者に、ゼミの思い出と近況報告をステージ上で行ってもらいました。ま

た、全員に近況をカードに記してもらい、退出時に回収して先生にお渡ししました。

最後に、上本尚寛氏を中心にした18期生の音頭で万歳三唱を行ない、2期生の岡本昂氏の中締めの後、お互いの健康と再会を誓い合っ散会となりました。

世話人：谷口浩章（3期・S43年卒）、徳岡一幸（11期・S51年卒）